

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	一般財団法人 河田病院	代表者	河田 隆介	法人・事業所の 特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り、ご利用者様のご要望に応じ、ご利用時間の調整を致します。</li> <li>・シルバーリハビリセンター（SRC）との連携しADL向上、生活の質の向上を目指します。</li> <li>・看護師による通院介助にて病状を把握、職員に周知し病状にあった支援を致します。</li> <li>・全職員が利用者一人一人の特性を把握し個人の思いや希望を叶えるよう努力します。</li> <li>・地域の中で安心して生活できるよう地域の力を繋ぎ結び付け地域に人と共に支えます。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 アサガオ	管理者	楫野 義浩		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	4人	0人	0人	1人	4人	1人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	毎月の職員会議の場を中心に、ケースカンファを行い個別ケアの充実を図る。また評価の振り返りと改善計画の進捗を確認していくようにする。	ケースカンファの定期的な実施、情報共有の徹底、サービス計画書の確認、小規模多機能型サービス計画書の確認および評価を実施し本人のニーズの把握に努めている。	ケースカンファが開催されていない、十分な情報共有が出来ていないなど、基本的な事が実施されてこなかったが1年で立て直すことが概ね出来た。	「個別ケアの充実」を理念としケースカンファを継続、必要に応じケア方法の変更を即時行い利用者に快適な在宅生活を営んで頂く。
B. 事業所のしつらえ・環境	近隣の諸施設にパンフレット等を置かせて頂き地域の方々に認知して頂く。	介護老人保健施設や居宅介護支援事業所、近隣の病院、ガソリンスタンド等にパンフレットを設置させて頂いた。近隣住民の方々への配布には至らなかった。	河田病院に来た時にどこにアサガオがあるかわからない。案内板も「デイサービスかわだ」のままになっている。	民生委員や地域の代表の方々ともコミュニケーションをとる。定期的に会合を開き情報収集に努め、地域資源の掘り起こしを行い、利用者にも有効な資源については活用させて頂く。 地域交流スペースをつくり、地域の方々に利用して頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	家族会を開催し、民生委員をはじめとする地域の方々に参加して頂き「アサガオ」を知って頂くきっかけ作りから始める。 職員会議での評価の振り返りや改善計画の進捗確認を通して地域とのつながりの重要性を認識し、地域とのつながりを意識した個別ケアの提案実施を行う。	イベントのある日に家族会を開催予定であったが、参加者がおらず未開催に終わった。ご家族様に参加してもあまりメリットが感じられない、興味が無い、時間が合わないなどの理由が考えられる。	事業所自体が地域にあまり知られていない為、相談事などしないのではないかと。認知症への対応や進言などが出来る旨の看板をつくってはどうか。 夏の盆踊りや園児の来所、ボランティアの来所、奉還町祭りへの参加などがあり、地域との繋がりがあることが伺える。	民生委員や愛育委員、老人クラブの方々など地域を代表する方々と定期的に会う会合を作る。まずは小規模多機能型居宅介護事業所とはどんなところか、アサガオでは何をしているかを知って頂く。 「介護相談受け付けます」や「ご自由に見学してください」といった看板を掲げ話しやすい雰囲気を作る。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	町内や利用者宅の地域での役割や活動として、利用者と一緒に行える事を検討。	夏の盆踊りや園児の来所、外部ボランティアの来所などある程度は地域での本人の暮らしを支える取り組みは出来た。地域住民との交流は出来てない。	まずは親しみやすい事業所であることを知ってもらうことが大切。「介護相談受け付けます」や「ご自由に見学してください」といった看板があればなお親しみやすい。	近隣地域での年間行事をおさえる。参加できる行事には利用者と一緒に参加する。事前に下見などし準備にも参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で情報交換を行い地域での取組に協働していく。家族会を設け、運営推進会議の内容、事業所運営の見直しなど意見を伺いよりよい事業所にするよう取り組む。	運営推進会議での意見はアサガオ内会議で報告し是正が必要な場合はすぐに対応できた。家族会は開催出来なかったが、今後の検討課題とする。	アサガオ自体の実態が周知されていないため、利用者家族等に意見を求めることも必要ではないか。形式的な流れで行っている。突っ込んだ意見を言うことが必要だと思う。	アサガオ受付に相談窓口の看板を設ける。相談に乗れない職員のいるためその場合は、連絡先を聞いておき、あとで相談に乗るなどしてより親近感をもてる対応をとる。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画を事業所の見やすい場所に設置し誰もが閲覧できるようにする。災害避難時の具体的マニュアルを作成する。	防災計画の設置はできた。閲覧も申し出があれば誰でもできるような対応をとっている。災害時の避難マニュアルも作成し、年2回の防災避難訓練が出来た。	創設して5年目の施設で防災施設の点検も確実に実施し、非常口も完備し年度の避難訓練・AEDの訓練修得(職員)も実施されている。防災計画を地域に向けて提示してこなかった。	民生委員や愛育委員等地域を代表する方々に、河田病院やアサガオなどが緊急避難場所にもなる事を伝える。